

## 郷土資料館だより

Vol.35 No.1  
2012.8.1

## 企画展示室 収藏品紹介「災害の記録」開催中

会期 平成24年7月28日(土)～9月9日(日)

東日本大震災から1年余りが経過し、被災地の復興と同時にそれぞれの地域における防災対策を進めることがまちづくりの重要な課題になっています。今回は郷土資料館の収蔵資料から災害に関するものを選び、三島でこれまでに起きた災害や災害に関する地域の特性について展示しています。

## 主な展示内容

## ◆安政の地震

嘉永7年(1854)11月4日、遠州灘から駿河湾にかけての海底を震源とする地震が発生しました。これが安政東海地震(11月中に安政に改元)とよばれるもので、三島宿ではほとんどの建物が倒壊しました。また、翌5日には同規模の南海地震が近畿地方を襲い、さらに翌安政2年10月2日には江戸に直下型大地震が発生しています。

## ◆北伊豆震災

昭和5年(1930)11月26日、函南町を震源とする地震があり、三島は震度6を記録しました。被害は静岡、神奈川両県におよび、死傷者や家屋の倒壊など大きな被害を受けました。

## ◆七夕豪雨・平成の集中豪雨

湧水河川の多い市街地では水害はあまり起こりませんが、大場川・狩野川は箱根や天城の山々に端を発しているため、度々氾濫し流域の住民を苦しめてきました。

## ◆東日本大震災での文化財の被災状況

今回の震災では、多くの博物館、資料館も被災しました。とくに津波による被害が大きく、文化財レスキュー活動も展開されていますが、まだ課題も多く残されています。



地震の様子を記した『安政見聞録』



北伊豆震災後の市街地の様子

## 企画展示室 収藏品紹介「新規収蔵・修復・整理・調査資料」報告

会期 平成24年4月28日(土)～6月10日(日)

郷土資料館のような博物館施設の活動は、「収集・保存」、「調査・研究」、「展示・教育普及」に分かれています。このうち、「展示・教育普及」以外の活動についてはなかなか一般の方の目に触れる機会がありません。そこで、今回は「収集・保存」「調査・研究」活動に関する資料を通して館の活動をより深く知っていただこうと考え、展示を行いました。

## 主な展示内容

- ◆寄贈資料 宮大工の道具一式(前田勇次郎氏旧蔵)、豆州志稿・伊豆国全図(秋山統氏旧蔵)など
- ◆購入資料 豊臣秀吉掟書、山口余一関連文書
- ◆修復資料 楽寿園梅御殿杉戸絵、伊豆国全図
- ◆整理資料 中 鈴木家文書





## 郷土教室・郷土資料館ボランティアの活動

今年度より郷土資料館ボランティアによる活動がスタートしました。「楽寿園グループ」「昔あそびグループ」「昔まなびグループ」「展示ガイドグループ」の4つにわかれ、毎月資料館で行っている子ども向け体験メニュー「郷土教室」などで活躍しています。



5月5日(土)6日(日)は、「こどもの日体験デー」として折り紙の鯉のぼり・かぶと作りと三島の昔ばなし「いいなりじぞう」の紙芝居上演を行いました。とくに折り紙で作る鯉のぼりは大好評で、みんな自分だけの鯉のぼりを嬉しそうに握りしめて帰る姿が印象的でした。紙芝居は三島に伝わる昔ばなしということで、親子連れだけではなく年配の方も足を止めて聞き入っていました。

5月13日(日)は、去年も好評だった「古代の生活体験」として勾玉作り、火おこし、土器あてクイズを行いました。特に勾玉作りは大人気で、50個用意した勾玉キットはお昼すぎには終了しました。火おこしはコツをつかむまでが難しく、どの子も汗をかきながら真剣に取り組んでいました。本物の土器片を触って分類する土器あてクイズでは、実際に三島市内で出土した土器片を触ってもらうことで、歴史を身近に感じてもらうことができたようです。

6月10日(日)は「昔の道具体験」として石臼、鯉節削り器、うどんの製麺器の道具体験とスタンプラリー、クイズを行いました。できたてのきなこや鯉節の風味には、「おいしい!」「おかわり!」と歓声があがり、製麺器で自分でつくったうどんをミニチュアにして持って帰ってもらう企画も好評でした。

今後も楽しく学べる資料館をめざして、職員・ボランティアとともに知恵をしぼっていきたいと思います。夏以降もいろんな体験メニューを実施予定です。ご参加お待ちしております!

### ～これからの郷土教室スケジュール～

日にち	内 容
8月3日(金)	夏休み体験デー (昔の遊び、紙芝居)、機織り体験 (裂き織り) ※
8月12日(日)	古代体験 (勾玉作り、火起こしなど)
8月22日(水)	夏休み体験デー (勾玉作り、火起こしなど)
9月9日(日)	むかしの遊び、紙芝居上演
10月14日(日)	むかしの道具体験
11月11日(日)	楽寿園の自然

※機織り体験の予約は終了しています。



## 平成23年度 郷土資料館事業報告

### ●企画展示

展示名	実施期間	主な展示内容	入館者数
市制70周年記念企画展 「写真でふり返る三島の70年」	4月17日(日) ～5月29日(日)	写真パネルによる三島の歴史紹介 ●三島市の誕生 ●成長期の三島 ●花開く三島～せ せらぎと緑と元気あふれる協働のまちを目指して	6,272人
市制70周年記念企画展 「三四呂人形の見た近代」	6月11日(土) ～9月25日(日)	●大衆文化・モダンの時代 ●海外に「日本」があっ た時代 ●戦争の足音の中で ●人形芸術の画期 ●三四呂と三島 ●野口三四郎について	14,734人
開館40周年記念企画展 「三島暦～三島暦で旧暦を読む」	10月29日(土) ～12月4日(日)	●明治の改暦 太陰太陽暦から太陽暦へ ●旧暦とは ●三島暦の歴史 ●地方暦 三島暦のライバルたち ●三島宿と三島暦 ●三島暦を読む ●現代・三島 の中の三島暦	8,388人

### ●その他の展示

生涯学習センター日本文学資料館「茂吉をめぐる歌人たち」展示

三嶋暦師の館 三嶋暦、三嶋暦関係資料の展示

西小学校郷土資料室 小学生向け郷土資料の展示（一部展示替えを実施）

### ●講座・教室・講演会

講座名		開催日	講師	参加人数
郷土教室	「昔の道具体験」	6月19日(日)	館職員	140人
	「子ども体験デー①」	8月5日(金)	館職員・実習生	80人
	「子ども体験デー②」	8月24日(水)	館職員	25人
	「葉っぱであそぼう」	9月25日(日)	館職員	35人
	「機織りを体験しよう」	平成24年1月28日(土)	杉山洋子氏	7人
	「溶岩の中をのぞいてみよう」 (富士山の日協賛事業)	平成24年2月23日(木)	館職員	25人
ふるさと講座	「箱根西坂を歩く」	10月1日(土)	文化振興課職員	28人
	「三島宿探訪」	11月5日(土)	迫田 信行氏	14人
企画展関連	講演会「三島暦を楽しむ」	11月3日(木・祝)	岡田 芳朗氏	59人
	「みしまるくんからの挑戦状 暦クイズ に挑戦」	10月29日(土) ～12月4日(日)	館職員	255人
	「みんなでつくろう 新・七十二候」		館職員	22人
	「めがせ暦マスター」	11月26日(土)	館職員	50人
ボランティア養成講座（全10回）		7月10日(日) ～平成24年3月11日(日)	館職員ほか	38人

### ●資料の収集、保管状況 平成23年度末現在収蔵資料総数 29,673点

◆平成23年度新規受入資料数 237点（内訳：寄贈235点、購入2点）

購入資料：伊豆国三島宿山口余一自筆文書、豊臣秀吉掟書

◆収蔵品デジタルデータベース化事業（国の重点分野雇用創造事業を活用）

古書・古文書16,112件、画像47,306ファイルのデジタルデータベース化を実施。

◆収蔵品の修復 梅御殿杉戸絵、伊豆国全図、宿内軒並絵図、三島宿町軒図を修復。

### ●平成23年度 開館日数305日、入館者数50,012人

## 郷土資料館耐震補強事業（リニューアル）について

郷土資料館は耐震補強及び改修工事のため、平成24年10月1日から全館休館となります。

改修にあたり、来館者の利用環境の改善を図るため、エレベータ棟、非常用外階段、多目的トイレを新設するとともに、公開展示から体験学習を主とした教育普及へと施設機能をシフトします。リニューアルオープンは平成25年11月を予定しています。なお、休館中は三島市内公共施設にて移動展示を行う予定です。

※郷土資料館事務室は11月26日から仮事務室として市役所中央町別館第5会議室へ移動いたします。休館中にご不便をお掛けしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



## 寄贈資料紹介

平成24年1月から6月にかけて、次の方々から寄贈の協力をいただきました。ありがとうございました。

寄贈者名前	寄贈品	点数
石川英幸氏（清水町）	教科書、雑誌、三島市関連資料など	31点
山本光夫氏（三島市）	ナショナル製電気冷蔵庫	1点
幸原保育園（三島市）	文集、航空写真、閉園式次第など	6点
増島 淳氏（三島市）	貝化石類、ペクテン化石類、岩石類など	7点
三枝桂子氏（函南町）	明治45年日記	1点
栗田 収氏（三島市）	かつお節削り器	1点
竹澤秀忠氏（三島市）	オカモチ	1点
増井元江氏（三島市）	ミシン、クケ台	2点
福井善徳氏（三島市）	ソニー製テープレコーダー、テープ	13点
(有)山本ミシン商会（三島市）	足踏みミシン	1点



昭和30～32年ごろ製造されたブラザー製ミシンです。かつて裁縫は女性のたしなみとされ、ミシンを嫁入り道具にすることも多かったそうです。

黒字に金の飾り模様が美しいこのミシンは、現在郷土資料館一階のエントランスホールに展示しています。



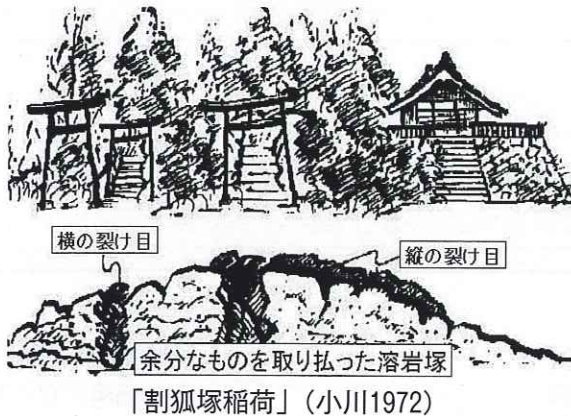
## 伊豆半島ジオパーク構想 Vol.5

今回は三島溶岩の「溶岩塚」(テュムラス)を紹介します。溶岩塚は、流動性に富む玄武岩質の溶岩流末端で、上流からの溶岩に押され行き場を失った溶岩やガスが上側に移動したために盛り上がり、塚状になった地形です。盛り上がった塚の表面は冷えているので自体の重みで割れてしまい、ひび割れを作ります。中から熱い溶岩が流出し「縄状溶岩」ができる場合も多く、溶岩の流動の様子を示す貴重な自然遺産です。

かたちは、溶岩の流動方向に細長い楕円形(数~百数十m)、高さは0.5m~数mのものが大部分です。古墳に比べると細長く、平たいです。

現在の日本大学~三島北高~三島駅~楽寿園周辺には、多数の溶岩塚がありました。地表に突出しているため、採石しやすく石垣の用材に利用されたり、土地を平にするために削り取られてしまい、本来の形を残しているのは少ないです。典型的な溶岩塚は長泉町下土狩にある「割狐塚稲荷」です。そのスケッチを左下に乘せておきました。

溶岩塚は草木で覆われ全体の形を確認出来ないのが普通です。しかし、小型のものは全体を観察できます。右下の写真は浅間神社社殿右側にある長さ約50cmの「溶岩塚の赤ちゃん」です。楕



円形で表面には亀裂があります。

左下の写真は白滝公園のトイレ北側にある「溶岩塚の子供」です、長さは約3mあります。縦横の亀裂や全体の形は「大人の溶岩塚」と何一つ変わりません。近くには縄状溶岩も認められます。右下の写真は三島北高校「紫苑の森」と名付けられた溶岩塚です。長径が100mを超え、樹木が茂り人手が加わり、わかりにくいのですが、写真の窪地は溶岩塚表面の長軸に沿って発達した割れ目です。楽寿園内には20近い溶岩塚やその痕跡があります。いくつかは一部が切り取られ断面が観察できます。ガスで押し上げられ「溶岩洞穴」が出来ているものもあります。三島溶岩に残された溶岩塚は大切に保存したいです。



白滝公園「溶岩塚の子供」

三島北高「紫苑の森」溶岩塚表面の亀裂

(増島 淳/三島市郷土資料館運営協議会委員)



## 市 政 功 労 者 表 彰

4月26日(休)に市政功労者表彰式が行われ、郷土資料館関係者の3名が表彰されました。

### ●有効表彰（教育または文化の振興に貢献）



#### 追田 信行 さん

平成5年に三島市郷土資料館運営協議会委員に就任、平成11年から副委員長、平成13年からは委員長を務められ、また教育普及活動における講師を多数務めるなど、長年にわたり地域の文化振興に貢献されました。

#### 諏訪部 敏之 さん

平成7年に三島市郷土資料館運営協議会委員に就任、平成15年から平成17年までは副委員長を務められるなど、長年にわたり地域の文化振興に貢献されました。



### ●篤行表彰（市民の模範となるべき篤行）



#### 秋山 統 さん

市指定文化財「秋山富南古文書原本豆州志稿他7件」のうち豆州志稿ほか計18点を三島市に寄贈し、市民の文化的向上に資することに貢献されました。

### 刊行物近刊のお知らせ

『三島市郷土資料館研究報告5』 平成24年3月末刊行  
『中 鈴木家文書目録』 平成24年3月末刊行

頒布価格1,000円  
頒布価格2,000円

### 平成24年度郷土資料館職員を紹介

館 長 鈴木敏中

職 員 石間可奈子、平林研治、土山瑛香、笹山曜子、大川裕代、櫻村茜、増田雄飛

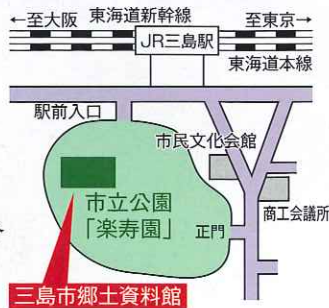
【編集後記】 新しく若い職員が3人加わり、ボランティアによる活動もスタートして、資料館もにぎやかになってきました。来年秋のリニューアルオープンに向け、みんなでがんばっていきます！

### 利 用 案 内

●休館日  
毎週月曜日  
(祝日の時は翌日)  
10/1～H25.10/31

●開館時間  
午前9時～午後5時  
(4/1～10/31)  
午前9時～午後4時30分  
(11/1～3/31)

●入館無料  
(ただし、楽寿園入園の際に有料)



●三島駅(南口)から徒歩5分。  
市立公園楽寿園内

### 郷土資料館だより vol.35 No.1 (第103号)

発行日 平成24年(2012)8月1日  
(年3回発行)

編 集 三島市郷土資料館  
〒411-0036  
静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内  
TEL 055-971-8228  
FAX 055-981-3730

E-mail : kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp  
URL : http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/  
発 行 三島市教育委員会